

「社会資本メンテナンス戦略小委員会」開催に先立ち頂いた主なご意見について

(1) 「社会資本メンテナンス戦略小委員会」の審議内容に関するご意見

- ①社会資本の管理者の知識と国民の認識にズレがあり、管理者が当たり前と思っていることも国民の間では認識されていないことが多いことを留意すべき。
- ②技術の進歩をバックアップしていくためには技術の基準化・制度化が必要で、基準化・制度化に関してどのような取組がなされているか整理すべき。
- ③維持管理のうまくいっている事例、そうでない事例を集めてはどうか。海外の経験や事例から学べるところはないか。
- ④メンテナンスで工夫・努力されている事例を見る機会を設けるべき。
- ⑤老朽化だけでなく耐震性も評価してはどうか。

(2) 社会資本の実態把握、維持管理・更新費用の将来推計に関するご意見

- ①データの信頼性が重要。
- ②将来の維持管理・更新費用について、財務会計ではなく、社会資本の物量から管理会計的発想で推計するのは正攻法であると思う。今あるデータの中で物量は一番信頼できるデータである。分野横断的にデータを整理することでどこが駄目なのかも分かるし、一回で完璧な数字が出てくるわけではなく、最初の一步としては非常に良い。
- ③社会資本の実態や推計の結果について、管理者別に自分たちの施設の老朽化状況が比較できるようになった方がよい。
- ④更新費や維持管理費の範囲について整理が必要。
- ⑤更新費を推計するには、実態に即して耐用年数を設定すべき。
- ⑥推計期間を何年とするか（50年とするか、100年とするか等）で考え方が変わってくる。
- ⑦実態把握の一つとして社会資本の使用・稼働の状況も把握すべき。人口が多い地域にありよく使われている社会資本は劣化が早いので、推計に考慮すべきではないか。
- ⑧推計について、制度的な寿命や機能の陳腐化、サービス水準、将来的な技術開発の期待値なども考えていければ良い。
- ⑨将来推計については作業の簡略化も検討すべき。地方公共団体での活用を考えれば変数をあまり増やさないことも重要である。
- ⑩データの保管体制について、地方では危機的なところもあるので触れるべき。
- ⑪総務省、厚生労働省、文部科学省にも協力してもらい進めるべき。社会資本の老朽化は国全体の問題。

(3) 維持管理・更新技術の進歩のレビューと技術開発の方向性に関するご意見

- ①鉄道では、省力化、延命化などの技術開発により、維持管理・更新費用を抑え長寿命化が図られている。こういう経験が他の分野でも活かされれば良い。
- ②分野によっては、維持管理における新たな技術を民間は持っているので調べてみると良い。
- ③技術の進歩により、点検の頻度を抑えて効率化できる可能性があることを今後の方向性に示すべき。

(4) 今後の維持管理・更新のあり方に関するご意見

- ①社会資本の管理者としての責任を果たすことを基本方針として謳うべき。
- ②広域的な体制の構築など人材・体制の検討が必要。
- ③「ヒトの不足」「カネの不足」など現場の問題が解決につながるようなメッセージを出すと新味があるのではないか。
- ④地方では、技術者が不足していることを踏まえて、高い技術だけでなくローテクも含めて、現場が実施可能なものを考えるべき。
- ⑤財政が厳しい中で、更新と撤退の使い分けが重要となってくる。
- ⑥地方のためにも優先順位付けのための評価の考え方は議論すべき。
- ⑦維持管理・更新を考える視点として、利用頻度が高い、しっかり管理していないと命に関わる、災害時の重要性などがある。
- ⑧社会資本の撤退が現実的にありえるのか。なくなると住民生活に大きな影響を及ぼすため、現実的には長寿命化という選択肢ではないか。
- ⑨自然公物である河川や港湾といった社会資本は、構造物だけではなく「システム」全体で機能を発揮する。更新の優先順位付けを行う際には、個別構造物単位ではなくシステム単位で評価すべき。
- ⑩ 行政が必要性或優先順位を考える際には、経済合理性だけで判断すべきではなく、一定の公共性を考慮すべき。
- ⑪ 将来過疎化する地域について、維持管理・更新が従前と同じで良いのか検討が必要ではないか。
- ⑫社会資本整備、更新のあり方を考える際には、ソフトでの対応も重要。
- ⑬耐用年数を目標として設定するという考え方もある。例えば、イギリスでは公共建築物の中には設計耐用年数を120年としている。
- ⑭法隆寺など木造建築の特別な例として、専門の技術者集団を擁し、部材を更新しながら数百年にわたり維持しているものもある。
- ⑮延命化すれば良いというわけではなく、短い耐用年数で更新することを前提とした方がコストダウンが図れるもの、「寿命半分、価格半分」で社会のニーズ変化により機動的に対応しているものもある。
- ⑯みなとオアシスのように管理に民間を組み込んでいくような組織・体制が必要。
- ⑰効率的な維持管理・更新を行っていくためには、施設の種類や地域によってサービス水準をきめ細かく設定する必要がある。